

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「天皇陛下の孫娘から「報酬100万円で処女を買って欲しい」とメールで依頼されたんだが・・・」

テーマ:「自由になりたいのに、自由になれない美少女」

キャラクター

60

ストーリー

40

テーマ(設定)

55

文章力

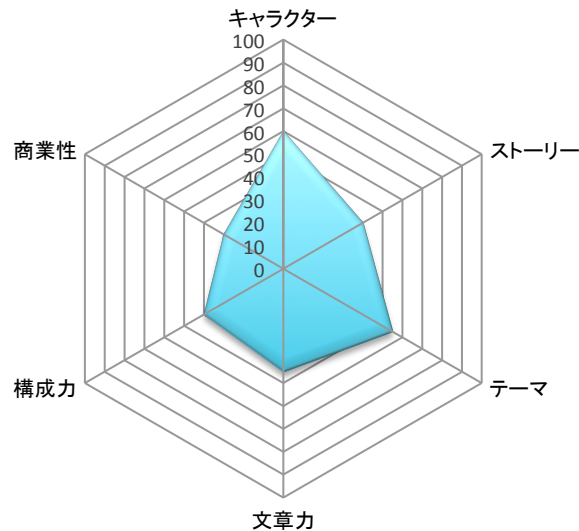
45

構成力

40

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- 物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- 物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

「商業性」30点。出版できない。ただこの出版社から出たか分からないように出版できるのであれば、是非自社から売ってみたい作品。
まずキャラクターを際立たせ方が非常に巧みかつ面白い。頭が少し悪いのかい?」の如く加えられ、どうしようもないキャラクター性。例えば「S嬢とM嬢みたいな」等の台詞で端的に表現しているあたりが巧い。今回はかなり外交的な意味でブラックネタが多かったためちょっと問題があるが、このブラックネタをグレーゾーンネタくらいまで薄めてかつこのドタバタ感を再現できれば商業的な作品として十二分に成立すると考えられる。商業性については、ドタバタ感を表現する力だけなら商業的にも高いレベルにあるということから0点は避けた。最後に、少しキャラクターの人数が多過ぎるため、もう少し減らした上でキャラ同士の掛け合いシーンを増やした方がバランスが良いと思われる。
・三点リーダー(…)は2個セットで使用する
・「むき出しの勃起ペニス」等、安直な下ネタは避けた方がよい。それまでギャグの流れで来ているのに突然ただの下ネタが出てくると、読者によっては冷める(特に読者が女性だった場合。私個人はペニスでも面白いとは思いますが)。なので前の方を選んで、「あなたのむき出しの聖刺」とか「黒光りするマダナム」とか、何でもいので少しひねるとキャラもたって面白くなると思われる。
金玉姫の登場シーンをもう少し詳しく描写を。「吸血鬼みたいな、幼女がいて」→どこに? いつからいた? って感じになってしまっているため。キャラクター性が強烈なのでいっそミサイルに乗って窓ガラスを割って外から入ってくるくらいしてもよいかと思う。他のキャラクターについても同様。キャラクター性重視の小説であり、かつ台詞を効果的に使ってキャラクターの個性を描くことができるため、あとは言葉以外の動作等でキャラクターを表現できるとなお面白い。その意味で登場シーンはうまく使っていきたい。

合計加点ポイント 0

総得点: 270 / 600

B方式総合得点: 12150 点